

## ロータリーで 海外留学をしてみませんか？

国際ロータリー青少年交換プログラム参加者募集

地区青少年交換委員長 毛利 哲三

このプログラムは高校生を対象とした世界最大の交換留学生プログラムでロータリアンの子弟が参加出来る数少ないロータリー・プログラムです。現在全世界より約7000名、日本からは約300名の学生がこのプログラムによって世界各地に交換留学しています。

対象は原則としてロータリークラブおよび地区より推薦された高校生で、留学先ではそれぞれのロータリー・クラブがホストクラブとなり、ホームステイをしながら現地の高校に通学します。滞在費、学費は現地のロータリー・クラブが負担、おこずかいも支給されます。

2660地区よりのおもな留学先はカナダ、アメリカ、ニュージーランド、フランス、ドイツ、アルゼンチン、ブラジルそして来年度から新たにフィンランドが加わります。

現在、当2660地区では1997年春・夏より1年間海外に交換留学希望の学生を下記の要領にて募集しています。ふるって応募下さい。

### 応募要項

- 1 予定交換国 アメリカ、カナダ、ニュージーランド、ドイツ、オーストリア、フランス、ブラジル、フィンランド、アルゼンチン
- 2 交換期間 1997年1月～8月より1年間
- 3 交換人数 約15名
- 4 応募資格 原則として留学開始時15～17才半の高校生
- 5 応募要領 各ロータリークラブを通じて地区青少年交換委員会に申し込むこと
- 6 その他詳細は地区青少年委員会におたずね下さい  
連絡先：地区青少年交換委員長 毛利 哲三  
TEL 06-552-1551 (松尾橋梁、社長室)  
FAX 06-553-6898

## '96～'97 山の RYLA の報告

地区青少年活動委員長 板垣 美一 (大阪住吉)

初級山のRYLA実行委員長 村田 英明 (箕面中央)

上級RYLA実行委員長 有賀 一夫 (大阪咲洲)

本年も山のライラを下記のとおり実施いたしました。毎年各クラブの御理解を得ながら実施されるライラは、本年度で21年目に入りました。今年も多数の青年男女、ロータリアン(79クラブ)の登録を得て実施されましたことは地区委員会からこの紙上をお借りしまして厚くお礼申し上げますと共にホストの箕面中央RCの皆様へ感謝いたします。

### 1) 初級ライラ



本年度山のライラは去る9/14(土)9/15(日)9/16(月)の三日間、恒例通り能勢の大阪府立総合青少年野外活動センターにおいて開催しました。

当初懸念したロータリアンの登録、参加青少年の人数も、地区81クラブ中78クラブのご理解、ご協力により登録ロータリアン全数446名(うち当日受付又は現地迄来て下さった数160名)参加青少年数128名(うち外国人12名)とはじめの予想より、大幅に増えホストクラブとして感謝にたえません、ここに紙上を借りまして厚く御礼申し上げます。成功の要因を考えてみますと、先ず三日間を通じて好天気に恵まれたこと。テーマに「国際時代における青少年の使命」を掲げ周到な準備により、これに適応した質の高い青少年が動員出来たこと。又テーマ以外のスケジュールの運営については各班1名のセンターのベテラン、カウンセラーを配し雰囲気を盛上げて行ったこと等色々あるとは考えられますが、何れにせよ最後に提出を受けた参加青少年の99%の方

達がレポートの中で「参加してよかった。」「国際化について自分の対応の端緒がつかめた。」「ロータリークラブに対しての理解を深めた。」「今後共にこういう行事に積極的に参加したい。」というような感想をよせてくれて居ます。これ等のことを総合して今年度山のライラは自負ながら大成功だったとクラブ全員喜んで居ます。



最後に現地における開会式には地区青少年奉仕部門担当の松本パストガバナー、又閉会式には中川ガバナーのご出席を賜り、更にこの行事について当初より全面的にご支援下さった板垣地区青少年奉仕委員長ほか地区委員の方々に、更に又参加クラブ、参加者各位に対し深甚なる感謝の意を表し、ご報告と致します。

## 2) 上級ライラ

昨年度につづき第2回上級ライラを初級ライラと同時に開催いたしました。参加者は過去に初級ライラを修了した9名の青年男女でした。

### A) 事前研修 8月31日(土) PM1:00~PM5:00

於 大阪府立青少年会館 研修室

内容 a) 講義「ロータリーの精神と青少年に期待するもの」

講師 地区青少年活元委員長  
西 正中

b) 実習「グループワーク」

講師 (財)大阪府青少年活動財団  
主事 和田 操

### B) 実地研修

9月14日(土) 15:00~9月16日(月) 14:00

於 大阪府立総合青少年野外活動センター  
第4キャンプ場

内容 a) 講義「リーダーシップについて」

講師 野外活動センター  
所長 谷川 俊一

b) 講義「グループ指導者に望ましい資質」

講師 野外活動センター  
課長 森 正司

c) 実地訓練「ストレートハイク」

d) その他

上記内容で厳しき中にも自主性を重んじた上級ライラを無事終えることが出来ました。次に参加者のレポートを一部掲載します。

## 上級ライラレポート

満谷 和代

(大阪阪南RC推薦)

もし、高校のクラブの顧問からの上級ライラへの誘いがなかったら、私はこのセミナーキャンプに参加していなかっただろう。日頃、やってみたくも考えていても、なかなか自分から参加を申し出ることができない。このチャンスが与えられたことに感謝すると共に、これからは自分がやってみたくも思ったことは、与えられるのを待つのではなく、自発的に実践していこうと思う。この3日間を振り返ってみると正直、楽ではなかった。でも、充実していたし楽しかった。それに初日より、今日、自分自身が強くなっていると実感する。特に2日目に行ったストレートハイクは、仲間のいることの大切さ、自分自身が強くなることを学んだ。そして、普段の自分ではない自分との出会いに少しびっくりもした。私という人間は、虫が大嫌いで怖かったし、道のない森の中を歩くなんて考えられなかった。しかしこのストレートハイクはチームワークがとても重要で、私1人が勝手な行動をとると危険につながる。虫がどうだ、木がどうだなんていってられない。コンパスを命にみんなが1つになった。“大丈夫か?” “がんばれ!” “ここは危ないから気をつけろ”の言葉がうれしかった。“やれば出来るかもしれない。いや、出来るように精一杯やろう”という気持ちが生まれた。結局、39ポストには到達できなかったけれど、何か自信がたった。

今回、リーダー研修ということで、私もいつかリーダーとして活動したいと考えている。どんなリーダーがいいのかは、まだ答えは出ない。でも、この3日間で学んだこと、感じたことは一生忘れないだろう。この経験をファーストステップとして自分自身に磨きをかけていきたい。それが、リーダーとしての自分を作っていくと思っている。